釧路市立阿寒湖義務教育学校

校長　林　　政　孝

児童生徒数　　７０名

学　級　数　　１０(２)学級

職　員　数　　２３名

―　「目指す15歳の姿」の実現に向けた小中一貫教育の推進　―

「ふるさと阿寒湖を愛し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を目指し、釧路市初の義務教育学校として、学習指導と生徒指導の充実を図る取組の推進に努めている。

特に、４－３－２の３ステージ制の導入とステージごとに目指す子ども像の明確化、２ndステージからの教科担任制の実施や地域の教育資源を活用した教科等横断的な学習「阿寒湖学」の実施により、目指す子ども像の実現に向けて、大きな成果を上げている。

― ふるさと阿寒湖を愛し、心豊かに生きる子供を育む「阿寒湖学」の実践 ―

総合的な学習の時間を中核に、地域の豊かな教育資源を「自然体験」と「アイヌ文化」の２つの柱で整理・再編した「阿寒湖学」に取り組んでいる。

特に、９年生では、教科等横断的かつ系統的に学習してきた探究の成果を、「阿寒湖活性化プロジェクト」として地域の方々にプレゼンテーションすることなどにより、ふるさと阿寒湖を愛し、心豊かにたくましく生きる子供の実現に向けて、成果を上げている。

― 心豊かにたくましく生きる子供を育む「異学年交流」の実践 ―

小規模校であることから、少しでも多様な人とかかわる機会を設けることを目的に、意図的・計画的に縦割り清掃、前期・後期合同宿泊研修、学習内容に応じた合同学習、児童生徒会企画等、異学年交流の場を設定している。

特に、運動会は、企画から準備・運営まで、すべてを子どもたちが主体となって行うことにより、子どもたちが自己有用感を味わうなどの成果を上げている。

― 地域に根ざした教育活動の充実 ―

令和３年度に開校した学校ですが、これまで地域の方々の協力を得て取り組んできたことを大切にした教育活動を行ってくれています。その一方で、ＩＣＴ機器を活用し、遠方の学校との交流を進めるなどの新しい取組も進めてくれていて、子どもたちが楽しく学校生活を送っています。

今後も、地域住民として、期待・応援するとともに、様々な活動に協力していきたいと思います。（保護者の声）